



RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

# 会報

No. 1146

豊橋東ロータリークラブ

2020-2021

第31回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和3年6月2日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：国際奉仕

国歌「君が代」、ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：坂牧 博美 さん

ゲスト 小林 薫 氏

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	会場出席	出席率	4月21日修正出席率	ビジター
51名	45名	6名	16名	36.36%	100%	0名

## 会長挨拶

角谷 歩 会長

パソコンの向こう、もしくはスマホの向こうにいる皆さん、こんにちは。私の姿がみえているでしょうか？私の声が聞こえているでしょうか？2020-21年度も最後の一か月を迎えました。思い起こせば昨年6月、新型コロナ禍で約3か月の休会を経て、検温・手指消毒・三密回避など、新たな例会運営へ向け試行錯誤の第一歩を踏み出しました。あれから1年、新型コロナ禍はなお眼前に存在し、私たちは第三回の緊急事態宣言下にあります。従来、基本的に宣言期間中は休会としておりましたが、今回は新たな試みとしてオンライン例会にチャレンジいたします。不行き届きもあるかと思いますが、是非ご寛恕願います。

## 本日のプログラム

『 時間と距離と世代を超える

RYE (ロータリー青少年交換留学) の絆 』

小林 薫 氏

私の祖父が福岡西ロータリークラブ 1962年に入会し、在籍中に青少年交換プログラムの話があり、当時高校生だった母が参加したそうです。



母は1966年の8月から翌年の9月まで留学していました。留学先はニューヨーク市でしたが、テレビで見るような都会的な場所ではなく、マンハッタンから北に500キロ以上、車で6~7時間かかる田舎だったそうです。当時、青少年交換プログラムでは現地の高校に通いながら校区内のホストファミリーにお世話になったそうです。母がお世話になった Peckham (ペカム) 家では日本人を受け入れるのは母が初めてで最初はかなり懸念さ

れたようです。当時の交換留学では、現地に珍しいものを持って行くことが決まりだったそうです。母は着物を持って行き、ホストファミリーの娘さんが着て撮った写真などがありました。メモ書きに着物ではなく、ガウンと書かれているのが時代を感じます。母は私が中学生のころ他界しました。母は亡くなるまで留学先のホストファミリーと連絡を取り合い、ずっと行き来がありました。ですが、母が亡くなってから連絡は途絶えていました。3年前にアメリカ旅行に行った時、わずかな手掛りをきっかけにホストファミリーと連絡をとることができました。そして30年ぶりに再会することが出来ました。



## 3分間スピーチ

中澤 理 さん

本日は初めてのオンライン例会という事で、オンラインに因んだお話しをさせていただきます。私の本業は学習塾ですが、主に英語スクールを運営しています。愛知県で10校、県外ではFC加盟校などがあります。今、英語スクールで非常に困っていることがあります。講師の先生の8割がアメリカ人の先生なのですが、コロナの影響で日本に入国できず、アメリカ人講師による授業が出来ない状態が続いています。そんな状況の中、今一番力を入れて行っているのがオンラインレッスンです。なんとか国内で講師を確保しながら、オンラインで英語スクールを行っています。オンラインレッスンにご興味のある方はご連絡お待ちしております。



原稿：新本 康欽 さん / 写真：縣 秀尚 さん